

笑顔あふれる街づくりを実現します!

みのり通信

2021年
春号



〒005-0006札幌市南区澄川6条4丁目2-1澄川ビル2F TEL: 011-813-7733 FAX: 011-813-7778



山本浩之

事務局長 山本浩之

ご挨拶

日頃より「山山みのり」の議員活動ならびに連合後援会活動に対しご理解・ご協力いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

後援会活動として毎年、開催してまいりました「温泉とグルメ」や「北海道の施設見学ツアー」は、一昨年（2019年）の10月に開催致しました「北海道議会庁舎ならびに北海道警察本部庁舎」の見学ツアー後は開催出来ていません。

特に、北海道議会庁舎は、昨年、新庁舎が完成し、見学を予定しておりましたが、コロナ禍では、開催は厳しい状況です。

北海道では新型コロナウイルスの感染者が出てから1年4カ月余り、ここ最近では、コロナの変異株による感染が拡大しています。

また、ワクチン接種が行き渡るのは、まだ先の状況です。コロナのワクチン接種が進み、特効薬が開発され平穏な日常に戻る日が早く訪れることを切望しております。



また、新型コロナウイルス感染症対策に6,541億円を計上しましたが、コロナ感染症によつて被害や影響を被った道民の生活や経済活動を再生へと導く予算編成の見直しが必要不可欠です。

第1回定例道議会報告

(令和3年2月25日から3月24日)

令和3年第1回定例道議会は、2021年度一般会計予算「気候非常事態宣言に関する決議」などを可決した。代表質問には、沖田清志道議（苫小牧市）が立ち、デジタル化推進、新型コロナウイルス感染症対策に係る取り組み、高レベル放射性廃棄物処分場選定問題、教育問題などについて質しました。

山山みのり道議は3月18日の予算特別委員会で、性的マイノリティへの理解促進、男女平等の取り組み状況、DV対応などについて質しました。

会派は、これまでパートナーシップ制度の導入などの性的マイノリティに関する人権施策について議論してきましたが、知事は「人権施策は基本方針のもと、効果的な推進を図っていく」というこれまでの答弁を繰り返す、知事の理念や考え方が全く示されていません。

山山みのり活動日誌

(2021年1月から5月まで)

1月13日	文教委員会
1月14日	少子・高齢社会対策特別委員会
1月27日	連合北海道 第1回エネルギー環境講座(中止)
1月28日	会派「アイヌ政策」勉強会
2月2日	文教委員会 会派勉強会 「高レベル放射性廃棄物処分場問題について」
2月3日	少子・高齢社会対策特別委員会
2月9日	ワクチントーク北海道 要請行動
2月10日	石狩湾新港管理組合議会
2月18日	連合北海道との意見交換
2月24日	文教委員会 少子・高齢化社会対策特別委員会 会派「アイヌ政策」勉強会 女性議員ネットワーク北海道 役員会
2月25日	第1回定例会 開会 3月24日まで 札幌「議場コンサート」
3月4日	第1回定例会 本会議(代表質問)
3月5日	第1回定例会(代表質問)
3月7日	献血呼びかけ ザ・ビッグ石山店
3月9日	第1回定例会(一般質問) 3月12日まで 北海道議会「国際交流のつどい」
3月11日	会派「地球温暖化防止計画」勉強会
3月13日	党道連 新型コロナ対策学習会(Zoom)
3月14日	核ゴミを考える3・14集会 「橋本元高知県知事講演会」
3月15日	第1回定例会(補正予算先議)
3月17日	第1回定例会(予算特別委員会)22日まで
3月22日	第1回定例会(予算特別委員会 知事総括質問)
3月24日	第1回定例会(閉会)
3月20日	石狩湾新港管理組合 臨時議会 道警本部「街路樹案件」ヒアリング
4月6日	文教委員会 党本部「ジェンダー平等推進本部合同会議」(Zoom)
4月7日	少子・高齢社会対策特別委員会
4月13日	教育庁 特別支援学校案件ヒアリング ジェンダー平等推進会議(Zoom)
4月16日	教育庁 学校給食案件ヒアリング
5月11日	会派「北海道獣医提供体制整備計画見直し」勉強会 文教委員会
5月12日	少子・高齢社会対策特別委員会
5月13日	第1回臨時会



お気軽に山山みのり事務所へ

〒005-0006札幌市南区澄川6条4丁目2-1澄川ビル2F
TEL: 011-813-7733 FAX: 011-813-7778

ポスター・看板を設置していただける方募集中!

笑顔あふれる街づくりを実現します。



道が「性的マイノリティ」の理解促進について

大阪市淀川区は、LGBTへの差別が原因で自死を選んだという区民がいることを憂い、区民の命を守るには行政の仕事、また、人権を守るには行政の役割ということで、2013年にいち早くLGBT支援宣言をしています。
 畠山道議は2016年に淀川区を訪れ、その後何度となくLGBTなどの性的マイノリティ(少数者)に関わることを道に質してきました。そのたび、道の答弁は「道民の理解促進に努める」とのことでしたが、実際に動いている様子は見受けられませんでした。短絡的かも知れませんが、「パートナーシップ制度」の導入などによって、道が多様性を受け入れていることを広めることで、道民の理解が深まるのではないのでしょうか。

同性婚にも同等の権利を

男女の組み合わせ以外のパートナー関係を自治体が認める

「パートナーシップ制度」は、2021年4月現在、100の自治体が導入しています。2017年、札幌市はたくさんの方の反対意見があった中、「当事者はこんな偏見の中で暮らしているからこそ、必要だ」とパートナーシップ制度を導入しました。道内では函館市や北見市も導入を検討しています。また、同性の配偶者を認める企業も増えています。しかし、この制度も法的には守られないため、やはり異性との婚姻と同等の権利が必要で

憲法に違反の判決

予算特別委員会開催中の2021年3月17日、札幌地裁で同性婚が認められないのは法の下の平等に反するという判決が出ました。これは全国5か所(札幌、東京、名古屋、大阪、福岡)で同時に起こされた、「結婚の自由をすべての人に訴訟」いわゆる同性婚裁判で、最初に司法の判断が示されたのが札幌でした。
(現在、最高裁に控訴中)※

※詳しくは→ <https://www.marriageforall.jp/>

道は現在、2003年に策定された「北海道人権施策推進基本方針」の改訂を進めています。これは約2年前から機会あるごとに、性的マイノリティや先住民、障がい者など社会とのずれが生じていることについて議論をし、改定を求めてきたものです。
 今回の同性婚裁判の結果が方針改定に反映されるのかどうかを質しました。道は国の議論の行方を見守りつつ、関係機関等と連携しながら、性的マイノリティの方々が暮らしやすい環境づくりに向けた取り組みの促進に努めるという答弁にとどまり、具体的な方向は示されませんでした。



予算特別委員会にて質問

元高知県知事 橋本大二郎講演会

核ゴミの行方

3月に「フクシマから10年、原発と核ゴミを考える3・14集会」(主催:泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会)に行き、元高知県知事の橋本大二郎さんの話を聞きました。核ゴミ最終処分場建設に寿都町や神恵内村が手をあげてから、機会を捉えて様々な話を聞いたり、文献を読んだりしましたが、同じ問題に直面した方のお話は、より現実的で臨場感のあるものでした。

2007年に高知県東洋町は全国で初めて手をあげましたが、紆余曲折の後、当時の町長はリコール運動で辞職、新町長が誕生してすぐに最終処分場建設地の申請は取り消



されました。国が多額の交付金を示して、自治体が手を挙げるのを待つ姿勢は、下品なやり方だと表現されていました。文献調査から概要調査へ移行するとき、知事は反対を表明できますが、それは調査がその段階で留まるだけで、白紙に戻るわけではない、まさに深謀遠慮とのこと。最終処分これだけの手

間(膨大な費用と時間、安全性の確保)がかかるものを、これから先も使用していいのかわからないという疑問は更に膨らみます。

10年目は区切りではない

橋本大二郎さんの話の後、福島からの自主避難者の方の話を聞きました。これが生の声なのだ、とても印象に残りましたので紹介します。

「東日本大震災からちょうど10年が経ったが、それが区切りではない。それは終わることなく20年30年と続き、被災者はみんな心にガラスのかけらを持っており、触れると痛い。これまでも全国で被災者が声をあげてきたが、たまたま10年の節目で大きくなっただけ。10年経ってやっとわかる真実もあった。東電に任せてはいけない。子どもたちは声をあげられない。皆さんには心にガラスのかけらを持たないでほしい」

北海道議会臨時会

2021年5月13日に、道議会臨時会が開催され、「まん延防止等重点措置」の札幌市への適用に伴う補正予算について、畠山道議の所属会派 民主・道民連合を代表して沖田清志会派政審会長(苫小牧市)が質疑を行いました。

会派として、もっと早い段階での「まん延防止措置」が必要ではなかったのか、また、「緊急事態宣言」を発するべきではないか等と議論しましたが、議会中は知事からは積極的な答弁がありませんでした。

しかし、翌日14日になって、国の方針が変わり急きょ北海道への「緊急事態宣言」が決まり、16日からの発出となりました。

ワクチン

Q&A



- Q** 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか。
A 一般論として、ウイルスは絶えず変異を起していくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるといいうわけではありません。
- Q** ワクチンを接種した後も、マスクは必要ですか。
A ワクチンを接種した人から他人への感染をどの程度予防できるかは、まだ分かっていません。一般的には、2回目の接種から効果がでるまでに、1週間ほどかかります。引き続き、皆さまにはマスクなどの感染予防対策を継続していただくようお願いいたします。
- Q** ワクチンについて相談したいとき、どこに相談すればよいですか。
A 自治体の窓口やコールセンター、かかりつけの医師などにご相談ください。厚生労働省もコールセンターを設置しています。

ワクチン接種お問合せセンター (土・日・祝日も受付)

相談のための専用ダイヤルのため、予約は受け付けておりません。

- 札幌市 011-351-8646 (受付 9:00~18:00)
 北海道 0120-306-154 (受付 9:00~17:30)
 厚生労働省 0120-761-770 (受付 9:00~21:00)